

海外安全対策情報（２０１３年７月～９月：香港・マカオ）

平成２５年９月３０日現在

１ ２０１３年７～９月の間に邦人が巻き込まれた犯罪

２０１３年７～９月の間の在香港日本国総領事館管轄域内における日本人の犯罪被害件数は、１６件でした（当館把握分）。被害内容（例を以下に記載します。）は、盗難が最も多く、気づかない間にカバンから旅券等の貴重品がなくなっていたなどの被害が特に多く見受けられました。また、詐欺による被害も複数ありました。例：ホテルに戻ってカバンの中を確認したら、貴重品がなくなっていた。

カバンを置いてちょっと居眠りしている間に、置き引きにあった。

就職をあっせんするなどと言って、個人情報聞き出された。（注：この行為は、それ自体が犯罪とは限りませんが、他の犯罪行為と併せて行われましたため、ここに含めて列挙しました。）

２ 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

日本人の被害は報告されていません。

３ テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は報告されていません。

４ 対日感情

一般的には良好であるものの、先の大戦に関連して我が国に対する要求を行う団体、尖閣諸島に関して中国の領有権を主張する団体等による抗議活動は依然として継続されており、引続き注意が必要です。

５ 日本企業の安全に関する諸問題

特段の問題は報告されていません。

６ 治安情勢

香港・マカオ、両地域の政府発表による犯罪発生件数を前年と比較したところ、香港及びマカオともほぼ横ばいの傾向が続いており、治安情勢は比較的安定しているといえます。

（１）香港警察発表による２０１３年８月までの犯罪発生件数

２０１３年の８月までの犯罪発生件数は、４８，５６２件と昨年８月までより１，７８０件少なくなっています。この中で、殺人事件が昨年の３倍以上の５７件が発生しており、特に注意が必要です。

（２）マカオ政府発表による２０１２年の犯罪発生件数（２０１３年のデータは未発表）

２０１２年の犯罪発生件数は、１２，６８５件と前年より１７３件増加しています。この中で、詐欺事件の増加が顕著で、前年より約４５．３％増加していることから、特に注意が必要です。